

生徒理解のための多面調査 マルチ 教育臨床研究所 (大阪心理出版)
The Multiphasic Inventory for Understanding Students

<p>テストの標的</p>	<p>クラス担任の先生が扱いやすいよう、「性格検査」に「生徒の悩み」を付けたコンピュータ採点の生徒理解テストです。「集団式」のため、学年全体で実施する検査です。主な尺度はI S「自己を見つめる」(自己否定感尺度)、E S「対人関係を考える」(対人不適応尺度)、S S「学習についての充実感」(学習不適応尺度)の3尺度で、これに「生徒の悩みアンケート」を調査し表示させることで、生徒の抱える心の問題を探索し、「不登校」や「中途退学」「いじめ」などの問題を早期発見し、改善しようという生徒理解調査です。</p>
<p>適用年齢</p>	<p>高等学校用／中学校用 (集団式：コンピュータ採点)</p>
<p>実施時間</p>	<p>50分</p>
<p>学校用採点</p>	<p>検査用紙・コンピュータ採点料込み 1名分 547円 (税込590円) (オプション) データ検索CD作成 1名分 28円 (税込30円)</p>
<p>検査の概要</p>	<p>本検査の特徴は「自分はダメな人間だ」という「自己否定感」が測定評価されることで、自己否定感のある生徒は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「不登校」や「中途退学」 2. 回避性パーソナリティ障害 (自信がなくて回避する) 3. 境界性パーソナリティ障害 (リストカット等の自傷行為) 4. 不安定型愛着障害 5. 発達障害の二次障害 <p>などが原因として併存する場合が多く、本検査では、こうした傾向を持つ生徒を早期に把握できます。自己否定感は放っておくと「うつ」や「無気力」、「投げやりな学校生活」の原因となり、「不登校」や「中途退学」「学習不振」となるため、認知行動療法による改善をおすすめしています。群馬・埼玉県のマルチ採用校につきましては採点結果お届け後、「自分でできる認知行動療法」(生徒向き講習会)または、「職員研修会」をサービスさせていただいています。お問い合わせください。</p>
<p>参考書籍</p>	<p>「愛着障害」 岡田尊司著／光文社新書 「母という病」 岡田尊司著／ポプラ社</p>